

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活を送れるまち
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理が図られる。

【事業の内容】

(1) 街路照明灯事業

- ・ 防犯上・交通安全上、街路照明灯の設置が充実されていない地域に街路照明灯を設置整備することにより、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・ 既存の街路照明灯の維持修繕を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街路照明施設の設置(5-4-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,598	30,439	27,728		2,711

主な支出内訳

・ 街路照明灯事業

市内街路照明灯電気料	24,133
街路照明灯維持修繕料	841
街路照明灯修繕業務委託料	1,860
街路照明灯設置委託料	894

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-08 街路照明灯事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	275	街路照明灯整備・維持管理事業				
		1195	街路照明灯整備・維持管理事業				
主管課	道水路管理課	関連課					
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	夜間等の通行車両及び歩行者の安全対策						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	27,728千円	26,677千円	24,920千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	27,728千円	26,677千円	24,920千円			
	人員配置数	0.9人	0.8人	0.8人			
	人 件 費	8,119千円	7,347千円	7,524千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	35,847千円	34,024千円	32,444千円			
	市民1人当 りの経費	203円	193円	185円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
街路照明灯設置業務	○	目標値					
		実績値	15基	11基			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 修繕箇所を早期発見するためには、定期的なパトロールの実施が有効であるが、その体制が整っていない。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 職員により、他の業務における現地調査や住民との立会時に付近の街路照明灯を点検し、修繕の必要性を調査するよう心掛けた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 定期的なパトロールができていない。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 平成21年度は、緊急雇用対策により独立型街路照明灯の点検作業を行う。 引き続き現地調査や住民との立会時に付近の街路照明灯の点検・調査を行うとともに、職員によるパトロールを実施する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	平成21年度に実施する独立型街路照明灯の点検結果を生かし、街路照明灯の維持管理を行う。 引き続き効率の良いパトロールや点検作業を行う。 地球温暖化対策への取組をすすめるため、省エネ型ランプの導入を行う。		
担当課長氏名:	道水路管理課長 稲葉 一男		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性 有
	街路照明灯の点検を実施し、適正な維持管理に努める。引き続きより効果的な方法を検討する。 鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、環境負荷の低減を目指すため、省エネ型ランプの導入を推進する。		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋